

石川学習センター（17A）

科目コード	2663864	授 業 概 要	----- この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- 全ての言語は、人に自分の意思を伝えるためにあります。この授業では、英語で書かれた文章から学んだ情報を人に伝え、共に教えあうことで、さらに自身の理解も深めていきます。「読み、書き、話し、聞く」という4技能全てを向上させます。協働しながら勉強することで、英語だけでなく、コミュニケーション能力の向上も目指します。今後、自学自習を続けていくための学習法を学びます。 【授業テーマ】 第1回 講義内容の紹介と長文1 “The 1000-Year Bird Song” 第2回 グループ活動1 鳥のさえずりがどのように世代にわたって伝えられていくのか、グループに分かれて読み解いていきます。 第3回 人に伝える練習1 各グループが何を学んだのかを、他のグループに伝える練習をします。 第4回 発表1 各グループで発表します。 第5回 英語学習法の紹介と長文2 “The Flower Trade” 第6回 グループ活動2 切り花が世界各地でどのように取り引きされているのか、グループに分かれて読み解いていきます。 第7回 人に伝える練習2 各グループが何を学んだのかを、他のグループに伝える練習をします。 第8回 発表2 各グループで発表します。 【学生へのメッセージ】 自分の考えを人に伝えるということは、日常生活や仕事でとても大切です。この授業で、クラスメートと一緒に学びながら、英語の能力だけではなく、コミュニケーション能力も向上させましょう。英語を苦手と思っていたらっしゃる方の参加も大歓迎です。 【受講前の準備学習等】 時事について、普段から新聞を読むなどして、内容を日本語で簡潔に人に内容を伝える方法を考えてみておいてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 グループ活動とグループ発表のできを総合して評価します。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい）。 2. OS の指定種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android 等）。 3. ソフトのインストールプレゼンテーションソフトが必要です。PowerPoint や Google スライド等種類は問いません。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。もし、パソコンを持っていなくても、グループで1台あれば大丈夫ですので、すべての受講者が用意する必要はありません。授業で発表用に作成するパワーポイント資料を自分の成果として持っておきたい場合は、USB を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
クラスコード	K		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
科目名	伝える英語		
定員	20名		
担当講師	ヒサツネ アヤコ 久恒 彩子 金沢工業大学教授		
日程実施時間	■ 6月28日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 6月29日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2663872	授業概要 骨格筋について、運動生理学の基礎から最近の研究成果まで広く解説します。健康の維持増進をはかるため注目されている筋について正しく理解するとともに、運動・栄養などの観点から幅広く学びます。本講義では、生活習慣病や中高齢者のトレーニングについても取り上げ、受講者自身の生活に役立つ知識の習得を目指します。 【授業テーマ】 第1回 正体と恒常性 第2回 骨格筋の構造と働き 第3回 栄養とATP 第4回 筋運動のエネルギー 第5回 筋の肥大と萎縮 第6回 スポーツ生理学 第7回 生活習慣病と運動 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 写真やイラストなどを多用し、わかりやすい解説を心がけたいと思います。運動や筋肉に興味がある方であれば専門的な知識は特に必要ありません。なお、演習・実技は行いません。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 学生証、筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
クラスコード	K	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
科目名	運動と筋の生理学	
定員	40名	
担当講師	セキネ ノリコ 関根 紀子 放送大学教授	
日程実施時間	■ 4月19日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 4月20日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40	
実施会場	石川学習センター	

石川学習センター（17A）

科目コード	2658569	授 業 概 要	ミューラー・リヤー錯視、目撃者証言、集中学習と分散学習という3つの心理学実験を取り上げます。受講生はすべての実験に実験者あるいは参加者として参加し、実験レポートを作成します。授業を通して、心理学の仮説設定や実験方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 心理学の対象、歴史、研究法、実験の実施とレポート作成の注意点 第2回 目撃者証言実験 第3回 目撃者証言実験のデータ整理と解説 第4回 ミューラー・リヤー錯視の測定実験 第5回 ミューラー・リヤー錯視のデータ整理と解説 第6回 集中学習と分散学習の比較実験 第7回 集中学習と分散学習のデータ整理と解説 第8回 質疑と総合的な解説、レポート準備 【学生へのメッセージ】 分かりやすく、楽しみながら学べる実習授業となるよう工夫したいと思いますので、気軽に受講していただければと思います。 【受講前の準備学習等】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。一方で、実験結果に影響するため、本授業で取り上げる個別の実験については、現象を知るのには構いませんが、深く予習をしないようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点によって行います。レポートは授業中にある程度の準備を進めていただきますが、授業終了後に締切りを設定して完成版を提出していただきます。レポートは後日返却します。ミューラー・リヤー錯視、目撃者証言、集中学習と分散学習の3つの実験についての実験レポートを作成する。 【受講者が当日用意するもの】 電卓、定規。自宅でレポートを作成するために集計した実験データを電子ファイルで持ち帰りたい方はUSBメモリ（希望者のみ。集計した実験データは全員に印刷したものをお渡しします）。希望者は受講者自身が保有するノートPCやタブレットを授業に持参してノートやレポートの準備を進めいただいても構いません。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■心・理・学（松川順子／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779503542）授業に使用するものではありませんが入門テキストの例として紹介します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
科目名	心理学実験1		
定員	20名		
担当講師	タニウチ トオル 谷内 通 金沢大学教授	日 程 実 施 時 間	■ 4月12日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 4月13日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2658615	授 業 概 要	心理学における3つの基礎実験「記憶の系列位置効果」、「印象形成」、「パーソナルスペース」を取り上げます。受講生はすべての実験に実験者あるいは参加者として参加し、「記憶の系列位置効果」、「印象形成」、「パーソナルスペース」の3本の実験レポートを作成します。授業を通して、心理学の仮説設定や実験方法、データ整理、およびレポートの書き方について学びます。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、指定された全ての実験についてレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 心理学の研究法、実験実施とレポート作成上の注意 第2回 「印象形成」の実験 第3回 「印象形成」のデータ分析と解説 第4回 「自由再生による記憶の系列位置効果」の実験 第5回 「自由再生による記憶の系列位置効果」のデータ分析と解説 第6回 「パーソナルスペース」の実験 第7回 「パーソナルスペース」のデータ分析と解説 第8回 質疑と総合的な解説、レポート準備 【学生へのメッセージ】 楽しく実験を実施しながら心の働きを理解できるように工夫したいと思いますので、気軽に受講していただければと思います。 【受講前の準備学習等】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。一方で、実験結果に影響するため、本授業で取り上げる個別の実験については、現象を知るのには構いませんが、深く予習をしないようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点によって行います。レポートは授業中に一定程度の準備を進めていただきますが、授業終了後に締切りを設定して完成版を提出していただきます。レポートは後日返却します。「自由再生による記憶の系列位置効果」、「印象形成」、「パーソナルスペース」の3つの実験レポートを作成する。 【受講者が当日用意するもの】 電卓、定規。自宅でレポートを作成するために集計した実験データを電子ファイルで持ち帰りたい方はUSBメモリ（希望者のみ。集計した実験データは全員に印刷したものをお渡しします）。希望者は受講者自身が保有するノートPCやタブレットを授業に持参してノートやレポートの準備を進めいただいても構いません。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■心・理・学（松川順子／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779503542） 授業に使用するものではありませんが入門テキストの例として紹介します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
科目名	心理学実験2		
定員	20名		
担当講師	タニウチ トオル 谷内 通 金沢大学教授	授 業 概 要	心理学における3つの基礎実験「記憶の系列位置効果」、「印象形成」、「パーソナルスペース」を取り上げます。受講生はすべての実験に実験者あるいは参加者として参加し、「記憶の系列位置効果」、「印象形成」、「パーソナルスペース」の3本の実験レポートを作成します。授業を通して、心理学の仮説設定や実験方法、データ整理、およびレポートの書き方について学びます。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、指定された全ての実験についてレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 心理学の研究法、実験実施とレポート作成上の注意 第2回 「印象形成」の実験 第3回 「印象形成」のデータ分析と解説 第4回 「自由再生による記憶の系列位置効果」の実験 第5回 「自由再生による記憶の系列位置効果」のデータ分析と解説 第6回 「パーソナルスペース」の実験 第7回 「パーソナルスペース」のデータ分析と解説 第8回 質疑と総合的な解説、レポート準備 【学生へのメッセージ】 楽しく実験を実施しながら心の働きを理解できるように工夫したいと思いますので、気軽に受講していただければと思います。 【受講前の準備学習等】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。一方で、実験結果に影響するため、本授業で取り上げる個別の実験については、現象を知るのには構いませんが、深く予習をしないようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点によって行います。レポートは授業中に一定程度の準備を進めていただきますが、授業終了後に締切りを設定して完成版を提出していただきます。レポートは後日返却します。「自由再生による記憶の系列位置効果」、「印象形成」、「パーソナルスペース」の3つの実験レポートを作成する。 【受講者が当日用意するもの】 電卓、定規。自宅でレポートを作成するために集計した実験データを電子ファイルで持ち帰りたい方はUSBメモリ（希望者のみ。集計した実験データは全員に印刷したものをお渡しします）。希望者は受講者自身が保有するノートPCやタブレットを授業に持参してノートやレポートの準備を進めいただいても構いません。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■心・理・学（松川順子／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779503542） 授業に使用するものではありませんが入門テキストの例として紹介します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
日程実施時間	■5月10日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■5月11日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 （試験・レポート等） 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2658640	授業概要 3つの心理学実験「ストループ効果」、「鏡映描写」、「社会的判断（ヒューリスティック判断）」を取り上げます。受講生はすべての実験に実験者または参加者として参加し、実験レポートを作成します。心理学の仮説設定や実験方法、データ整理、およびレポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 科学論文の要件、心理学実験における注意事項、レポート作成時の留意点 第2回 「社会的判断（ヒューリスティック判断）」の実験 第3回 「ストループ効果」の実験 第4回 「社会的判断（ヒューリスティック判断）」のデータ整理と解説 第5回 「ストループ効果」のデータ整理と解説 第6回 「鏡映描写」の実験 第7回 鏡映描写実験のデータ整理と解説 第8回 質疑と総合的な解説、レポート準備 【学生へのメッセージ】 分かりやすく、楽しみながら学べる実習授業となるよう工夫したいと思いますので、気軽に受講していただければと思います。 【受講前の準備学習等】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。一方で、実験結果に影響するため、本授業で取り上げる個別の実験については、現象を知るのは構いませんが、深く予習をしないようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点によって行います。レポートは授業中にある程度の準備を進めていただきますが、授業終了後に締切りを設定して完成版を提出していただきます。レポートは後日返却します。「ストループ効果」、「鏡映描写」、「社会的判断（ヒューリスティック判断）」、の3つの実験についての実験レポートを作成する。 【受講者が当日用意するもの】 電卓、定規。自宅でレポートを作成するために集計した実験データを電子ファイルで持ち帰りたい方はUSBメモリ（希望者のみ。集計した実験データは全員に印刷したものをお渡しします）。希望者は受講者自身が保有するノートPCやタブレットを授業に持参してノートやレポートの準備を進めいただいても構いません。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■心・理・学（松川順子／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779503542）授業に使用するものではありませんが入門テキストの例として紹介します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題がありますが、色識別の不要な類似課題も用意可能ですので、必要な場合には事前に申し出てください。
クラスコード	K	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
科目名	心理学実験3	
定員	20名	
担当講師	タニウチ トオル 谷内 通 金沢大学教授	
日程実施時間	■6月14日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■6月15日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 （試験・レポート等） 15:55～16:40	
実施会場	石川学習センター	

石川学習センター（17A）

科目コード	2659026	授 業 概 要	臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320		
科目名	臨床心理学実習		
定員	30名		
担当講師	サトウ ヒトミ 佐藤 仁美 放送大学准教授		【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答 【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	■7月5日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■7月6日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		

科目コード	2663880	授 業 概 要	方言については、学校教育でほとんど取り上げられないことがないことと明治時代後半以降の標準語教育の影響もあって、誤解や偏見がいまだに少なくありません。方言の歴史を正しく知り、方言についての客観的な知識を得ることは、自身の言語的アイデンティティの確認にもなるはずです。授業では、石川県方言を中心に日本語方言の成立事情と、客観的調査データに基づいた石川県方言の特徴やその変容状況を説明するとともに、方言の再評価が進む中での生活語以外での方言活用事例を知ること、石川県方言の将来についても考えます。 【授業テーマ】 第1回 日本語諸方言の成立事情と石川県方言の位置づけ 第2回 日本における方言意識の変遷と北陸人の方言意識 第3回 加賀地方方言の特徴／能登地方方言の特徴 第4回 加賀地方方言の語彙事象の変容（1） 第5回 加賀地方方言の語彙事象の変容（2） 第6回 加賀地方方言の文法事象の変容 第7回 生活語以外での方言活用事例（1） 第8回 生活語以外での方言活用事例（2）／方言の現代的価値・役割と将来 【学生へのメッセージ】 石川県方言を中心とした方言についての歴史的・科学的考察を通して、方言の魅力や日本語の一部としての方言の現代的価値・役割などについて考える機会になればと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスに挙げた参考書など、方言に関する入門書を読んでおくことをお勧めします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ■ 新 頑張りまっし金沢ことば（加藤和夫 監修／北國新聞社／ ¥1,047／ ISBN=9784833014410） ■ 福井県の方言—ふるさとのことば再発見—（加藤和夫ほか／岩田書院／ ¥1,650／ ISBN=9784866021522） ■ 方言の地図帳（佐藤亮一編／講談社／ ¥1,639／ ISBN=9784065166796） 講談社学術文庫、佐藤亮一・加藤和夫ほか5名執筆 ■ どうなる日本のことば 方言と共通語のゆくえ（佐藤和之・米田正人編著／大修館書店／ ¥1,980／ ISBN=9784469212440） 佐藤和之・米田正人・加藤和夫ほか8名執筆
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
科目名	石川県方言を科学する		
定員	30名		
担当講師	カトウ カズオ 加藤 和夫 金沢大学名誉教授		
日程 実施時間	■6月14日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■6月15日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2663899	授業概要	「人新世」という概念に注目が集まり、グローバルに展開する人類の活動が地球に与える影響によって人類の存続可能性が脅かされる可能性が、地球温暖化や生物多様性の激減やパンデミックなどの衝撃的な事実を通して、広く認識されるようになった今日、「近代」という私たちの生き方に警鐘が鳴らされています。この授業では、この「人新世」時代において、人類学という学問に何が求められるか、カナダ極北圏の先住民イヌイトの間での講師のフィールドワークの現場から考えます。 【授業テーマ】 第1回「人新世」時代：岐路に立つ人類 第2回「人新世」時代の文化人類学の挑戦 第3回 カナダ・イヌイトの現在 第4回 カナダ・イヌイトの歴史：二度の危機を乗り越えて 第5回 イヌイトの先住民運動 第6回 二重に生きる：イヌイトの選択 第7回 イヌイトの生業システム 第8回 イヌイトから問う人類の未来 【学生へのメッセージ】 この科目は放送授業『「人新世」時代の文化人類学』と『フィールドワークと民族誌』とOL授業『文化人類学の最前線』を補完する面接授業です。その印刷教材とOL授業の書籍（『「人新世」時代の文化人類学の挑戦：よみがえる対話の力』以文社）を事前にお読みいただくと、本授業の内容の理解の助けになります。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題：今日の世界において「二重に生きること」の重要性について、自らの経験に基づく事例を一つ以上あげながら、授業の内容に基づいて、1,600字以上3,200字以内で論じてください。授業終了約2週間後の7月4日（金）必着です。それまでに石川学習センターに提出してください。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■「人新世」時代の文化人類学（大村敬一&湖中真哉編／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595321917） ■カナダ・イヌイトの民族誌：日常実践のダイナミクス（大村敬一／大阪大学出版会／¥7,480／ISBN=9784872594553） ■「人新世」時代の文化人類学の挑戦：よみがえる対話の力（大村敬一編／以文社／¥5,280／ISBN=9784753103812） ■フィールドワークと民族誌（大村敬一&中空萌編／放送大学教育振興会／¥3,300／ISBN=4595324561）
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
科目名	「人新世」時代のイヌイトの挑戦		
定員	40名		
担当講師	オオムラ ケイイチ 大村 敬一 放送大学教授		
日程実施時間	■ 6月21日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 6月22日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

開設科目・
開講日一覧

富
山

石
川

福
井

岐
阜

静
岡

浜
松

愛
知

三
重

科目コード	2663902	授 業 概 要	児童文学は子どもを読者対象とした文学作品を取り扱います。私達はこれまで何らかの形で児童文学作品に関わり影響をうけてきたりしたのではないのでしょうか。今回は、児童文学作品をジャンルごとに解説し、これまでの児童文学研究を紹介しながら、改めて児童文学作品を読み直します。読み直すことで、児童文学作品の価値を再確認します。 【授業テーマ】 第1回 児童文学の始まりと歴史について考える 第2回 伝承文芸と歴史物語を読み直す 第3回 冒険物語を読み直す 第4回 幼年童話と少年少女小説を読み直す 第5回 動物物語を読み直す 第6回 戦争児童文学を読み直す 第7回 ファンタジー作品を読み直す 第8回 マンガ・アニメ作品を読み直す 【学生へのメッセージ】 読書が好きな人はもちろん、苦手な人にも受講をお勧めします。子どもの頃読んだ作品を読み直すことで、作品が子どもに対して何を伝えようとしているのかを一緒に楽しく考えていきたいと思っています。 【受講前の準備学習等】 これまで読んできた児童文学作品の中で印象に残っている作品について、タイトル・作者・あらすじを発表できるようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 できれば、子どもの頃印象に残った作品を持参してください。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ■ アプローチ児童文学（関口安義絵編／翰林書房／¥2,200／ISBN=9784877372576） 本講座が基本としている参考書です。ジャンルや作家ごとにまとめられています。 ■ 児童文学の教科書（川端有子／玉川大学出版部／¥2,530／ISBN=9784472404634） 本編はもちろんのこと、コラムも充実していてよみごたえのあるテキストです。 ■ 児童文学論（リリアン・H・スミス 石井桃子・瀬田貞二・渡辺茂男訳／岩波現代文庫／¥1,650／ISBN=9784006022822） 児童文学者、児童図書館で働く人が必ず手に取るテキストです。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
科目名	児童文学作品を読み直す		
定員	30名		
担当講師	ナカジマ ケンスケ 中島 賢介 北陸学院大学教授		
日程 実施時間	■ 6月21日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 6月22日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2663910	授業概要	世紀末ヨーロッパの爛熟した文化は日本にも大きく影響を与えましたが、同時に日本からも多くの影響を受けていました。本講座ではヨーロッパと日本の芸術を通して、その文化の相互関係を探って行きます。 【授業テーマ】 第1回 森鷗外とドイツ美術 第2回 黒田清輝とフランス美術 第3回 世紀末ウィーンの美術 第4回 グスタフ・クリムトと分離派 第5回 アルフォンス・ミュシャの軌跡 第6回 ウィーン大都市改造と古代ギリシア建築 第7回 オットー・ワグナーと日本建築 第8回 西洋建築と日本の城郭 【学生へのメッセージ】 「世紀末」とは通常19世紀末を意味しますが、私自身、20世紀末のウィーンに十数年滞在していたので、史実と記憶が錯綜するかもしれませんが、真実と妄想のコラボをお楽しみください！ 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■ウィーンのカフェ（平田達治／大修館書店／ ¥2,530／ ISBN=4469212008） ■完訳フロイス日本史 織田信長篇Ⅱ（ルイス・フロイス／中央公論新社／ ¥1,257／ ISBN=9784122035812）
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
科目名	世紀末芸術と日本		
定員	40名		
担当講師	スエマツ 末松 サトシ 智 金沢学院大学特任教授		
日程実施時間	■ 6月28日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 6月29日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2663929	授業概要	----- この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- 地震・火山大国である日本に暮らす人々にとって地震は決してひとごとではありません。授業では、震度やマグニチュード、活断層といった地震に関する基礎的な事項を学び、地震のメカニズムや地震の想定、津波、地震と火山の関係について石川県の事例などを題材に理解を深めます。 【授業テーマ】 第1回 地震と地震災害 第2回 震度とマグニチュード 第3回 地震とプレートテクトニクス 第4回 地震と活断層 第5回 地震と火山 第6回 地震の想定 第7回 フィールド学習1: 森本・富樫断層帯を見る 第8回 フィールド学習2: 森本・富樫断層帯を歩く 【学生へのメッセージ】 地震は恐ろしいものですが、地震を引き起こす大地の運動により私たちが住む地域が作られています。正しく学び正しく恐れましょう。本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれますのでご承知おきください。 【受講前の準備学習等】 ・本授業ではタブレットやスマートフォン、ノートパソコンを用いてウェブ上のコンテンツ等の閲覧や操作をします。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線 LAN を利用できます。利用方法はシステム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。・OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。・地震に関する書籍、テレビでの報道、新聞記事等を通じて、地震に関する一般的な知識を蓄えておきましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び小テストにより行います。なお、小テストは返却します。 【受講者が当日用意するもの】 ・色鉛筆またはカラーペン（3色程度） - 持参する端末 インターネット接続が可能であれば種類は問いません（タブレット、スマートフォン、ノートパソコン）。 - OS の指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android 等）。 - ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 - その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのために AC アダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 ※野外での現地調査へはマイクロバスを使用して移動するため、交通費として2000円程度をご負担いただきます。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5 参照））
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
科目名	はじめての地震学 —石川県で学ぶ—		
定員	25名		
担当講師	ヒラマツ ヨシヒロ 平松 良浩 金沢大学教授	授業概要	----- この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- 地震・火山大国である日本に暮らす人々にとって地震は決してひとごとではありません。授業では、震度やマグニチュード、活断層といった地震に関する基礎的な事項を学び、地震のメカニズムや地震の想定、津波、地震と火山の関係について石川県の事例などを題材に理解を深めます。 【授業テーマ】 第1回 地震と地震災害 第2回 震度とマグニチュード 第3回 地震とプレートテクトニクス 第4回 地震と活断層 第5回 地震と火山 第6回 地震の想定 第7回 フィールド学習1: 森本・富樫断層帯を見る 第8回 フィールド学習2: 森本・富樫断層帯を歩く 【学生へのメッセージ】 地震は恐ろしいものですが、地震を引き起こす大地の運動により私たちが住む地域が作られています。正しく学び正しく恐れましょう。本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれますのでご承知おきください。 【受講前の準備学習等】 ・本授業ではタブレットやスマートフォン、ノートパソコンを用いてウェブ上のコンテンツ等の閲覧や操作をします。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線 LAN を利用できます。利用方法はシステム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。・OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。・地震に関する書籍、テレビでの報道、新聞記事等を通じて、地震に関する一般的な知識を蓄えておきましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び小テストにより行います。なお、小テストは返却します。 【受講者が当日用意するもの】 ・色鉛筆またはカラーペン（3色程度） - 持参する端末 インターネット接続が可能であれば種類は問いません（タブレット、スマートフォン、ノートパソコン）。 - OS の指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android 等）。 - ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 - その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのために AC アダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 ※野外での現地調査へはマイクロバスを使用して移動するため、交通費として2000円程度をご負担いただきます。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5 参照））
日 程 実施時間	■ 4月26日（土） 第1時限 9:30～10:55 〈試験・レポート等〉 10:55～11:00 第2時限 11:10～12:35 〈試験・レポート等〉 12:35～12:40 第3時限 13:30～14:55 〈試験・レポート等〉 14:55～15:00 第4時限 15:10～16:30 〈試験・レポート等〉 16:30～16:40 ■ 4月27日（日） 第1時限 9:30～10:50 〈試験・レポート等〉 10:50～11:00 第2時限 11:10～12:30 〈試験・レポート等〉 12:30～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40		
実施会場	石川学習センター		

石川学習センター（17A）

科目コード	2663937	授 業 概 要	ヒトに限らず、生物は生存するためには他個体との接触を避けることはできません。アリやハチのような社会性昆虫に限らず、多くの動物が同種・他種の個体とどのように関わっているかについて、行動学的手法により明らかになってきました。本講義では、さまざまな動物のコミュニケーション方法とその意義を解説します。 【授業テーマ】 第1回 1羽では歌えない 第2回 捕食者回避と採餌 第3回 縄張りとうたり 第4回 コミュニケーション 第5回 繁殖行動 第6回 子の価値と親の投資 第7回 利他行動を血縁淘汰 第8回 社会行動と共同繁殖 【学生へのメッセージ】 ペットを飼っている人はペットを観察、ペットを飼っていない人は動物園や水族館で、個体同士がコミュニケーションを取っているという視点をもって観察してみてください。 【受講前の準備学習等】 動物行動学や社会性について、どのような研究がなされているかインターネット等で調べておいてください。可能ならば、参考資料を読んでおくとう良いです。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況および授業終了後のレポート評点により行います。なおレポートのテーマは「動物における利他行動がもたらす集団の利益について例をあげて説明し、その意義を述べよ」です。なお、レポートは返却します。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】授業当日にプリントを配付します。 【参考書】■ 動物行動学（オールコック、ルーベンスタイン／丸善／ ¥17,600／ ISBN=9784621305898） ■ 動物のひみつ（アシュリー・ウォード／ダイヤモンド社／ ¥2,200／ ISBN=9784478116289）
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
科目名	1匹では生きていけない動物たち		
定員	40名		
担当講師	エビハラ ミツル 海老原 充 関東学院大学教授		
日程実施時間	■ 5月17日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 5月18日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55		
実施会場	石川学習センター		

科目コード	2663945	授 業 概 要	自然に関わる水、光、土などを科学的観点からとらえてそれらの性質について知識を深めるとともに、最近注目され実践されている、農薬も肥料も使わない自然栽培に注目し、自然栽培における植物の育ち方と自然とのかかわりを科学的な観点から考えていきます。 【授業テーマ】 第1回 水の性質を知る 第2回 光と熱の基本 第3回 土壌について考える 第4回 気候と自然 第5回 自然栽培とは 第6回 自然栽培を科学的に考える（1） 第7回 自然栽培を科学的に考える（2） 第8回 自然科学と自然栽培について 【学生へのメッセージ】 初級的な数学、科学分野の用語などを使いますが、数学的、科学的な事前知識に関しては特に問いません。自然を科学的な観点からとらえてみたい方の受講を希望します。 【受講前の準備学習等】 シラパスの内容から判断して、自然を考え、自然栽培に関する自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート等を持参ください。 【教科書】授業当日にプリントを配付します。
クラスコード	K		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
科目名	自然科学から見た自然栽培		
定員	30名		
担当講師	ニシ マコト 西 誠 金沢工業大学教授		
日程実施時間	■ 7月12日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 7月13日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40		
実施会場	石川学習センター		